

平成25年前橋市公共施設白書の主な記述と取り組み状況

	施設区分	平成25年度白書	取り組み	頁
		課題等の主な記述		
1	文学館	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な修繕が必要 ・利用者減少傾向 ・利用者一人あたりの運営費＝公民館や市文に比べても極めて高い ・運営経費の一般財源負担率99% 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法を直営に見直し 	29
2	臨江閣	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から耐震補強、大規模改修を計画 ・利用拡大への取組みが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修実施 ・貸館利用開始 	30・31
3	粕川歴史民族資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の低迷により利用者一人あたりのコストが市民文化系施設の中で最も高い ・施設のあり方を含めた検討も必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数を減少見直し 	34
4	図書館本館	<ul style="list-style-type: none"> ・10年以内で大規模改修か、新たに施設整備か方向性の検討が必要 ・コスト高、さらなる民活や有料広告事業も検討 ・移動図書館は廃止も検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所等も含め検討中 ・移動図書館＝廃止、広告事業も着手 ・吉岡町・榛東村との相互利用開始 	36・37
5	体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放による体育館利用状況も踏まえて施設のあり方を検討 ・利用に応じた使用料や実費徴収の検討 ・旧市立前橋高校第一体育館は耐震診断を行っていないため解体を含めて検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧市立前橋高校第一体育館は廃止 	38・39、109
6	プール	<ul style="list-style-type: none"> ・同種の施設が複数必要であるか、民間施設や県有施設等の状況も踏まえて施設のあり方を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討して案を協議中 	40・41
7	温泉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・公共が運営する意義や役割分担の検討が必要 ・将来的に3施設を維持していくかなどの検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者レビュー等で検討を継続 	45・46
8	グリーンドーム前橋	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション事業の強化 ・効率的かつ適正な維持補修が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合委託検討、ナイター競輪の導入などを実施 ・ネーミングライツの導入 ・ESCO事業の導入 	47・48
9	勤労青少年ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・統廃合検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労女性ホームと統合廃止 	50
10	前橋テルサ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成34年3月までは所有権移転等ができない契約 ・計画的な老朽化対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者レビュー等で検討を継続 	52
11	適応指導教室かがやき	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して施設が大きいと、他施設内に併設し運用するなどの検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・粕川支所の2階に移転 	62
12	共同調理場	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な視野で、引続き統廃合を含めた今後のあり方を検討 ・南部調理場は調理に加え配送委託も検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・粕川廃止 ・南部配送業務委託開始 ・西部調理業務委託開始 	66・67
13	総合教育プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場台数が不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡充済み 	70・71
14	保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域における施設配置等の見直しが必要 ・園児数を比較すると3倍の格差 ・保育士の配置基準は拡充してきたが、費用対効果の再検証が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・第四と総社の民営化(H31～) 	72～75
15	市立幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・園児数最大でを比較すると1.8倍の格差 	<ul style="list-style-type: none"> ・大胡幼稚園を大胡東幼稚園に統合廃止 	76・77
16	児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の空き室や学校周辺施設を活用した施設の拡張や増設を検討 ・地域運営委員運営の児童クラブは昭和53年度の開設以降、保護者負担金の見直し未実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新設施設は学校敷地内に設置 	80～83
17	大胡福祉サービスセンターいこいの家	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営費は比較的小額だが、利用者が極端に少なく、施設のあり方の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協大胡支所へ機能移転 	88
18	福祉作業所	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用率向上や管理運営費の効率化を図るためには、統廃合等を含む改善策の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・CCRC構想の中で検討 	89・90
19	保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネージャー制度の活用など、新たな保健事業の展開と施設のあり方を含めた検討が必要 ・5施設を合わせた利用者全体の65%以上が保健センターを利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・4町村地区の保健センター実質廃止 	93・94
20	総合福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理制度を検討 ・15万人前後の利用者がいるため一人当たりのコストは低く、受益者負担が図られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理導入 	95
21	公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化や入居率が低下している市営住宅を段階的に用途廃止し、戸数を減らすことで管理コストを抑制 ・民間委託を検討 ・空き部屋やスペースは社会福祉施設などを検討 ・新規建設は原則行わず質を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理戸数を△160戸減少 ・群馬県供給公社へ管理委託 	99～102
22	斎場	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源負担率が29%とかなり低く、受益者負担が図られている ・今後の管理運営方法について、指定管理、民間委託を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・炉裏業務を委託 ・委託拡大の検討継続 	105
23	議会庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・建替えを検討する場合には、市庁舎と一体的な整備を考えることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・新議会棟整備で研修会館との複合化を検討 	114
24	職員研修会館	<ul style="list-style-type: none"> ・有効利用されている施設であるが、資産価値が高く高度利用が望まれる立地 ・施設の位置、必要な機能、面積等の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・新議会棟整備に合わせて機能移転を検討 	121
25	ごみ焼却工場	<ul style="list-style-type: none"> ・延命化を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・六供清掃工場の延命化工事実施 	124・125